

# 2018年男子強化指定選手について

JVA ビーチバレーボール事業本部  
事業本部長 桐原 勇人  
強化委員長 岩本 洋

## ■強化指定選手の選考方法

強化指定選手は以下のような3つのカテゴリーに分類し半年ごとに見直しを行う。

\*前期 1月1日~6月30日 後期 7月1日~12月31日

前期の見直し期日は前年の12月1日・後期は前月の6月1日時点のJVA オフィシャルポイントランキング、及び大会成績、オールジャパン一員としての自覚、認識を踏まえ強化スタッフ、強化委員会にて選出する。

### 【強化指定選手 A】（東京五輪ターゲット選手）

現状において日本最高の技術と経験を備える選手で、国際、国内大会の高い実績があり、2020 東京五輪出場の可能性が高い選手

選手：①高橋巧 ②白鳥勝浩 ③長谷川徳海

### 【強化指定選手 B】（東京五輪・パリ五輪も視野に入れたターゲット選手）

#### I.強化指定選手 B1

Vリーグ、大学からの転向組で、実績は少ないものの身体的な特徴、運動能力、スキルにおけるポテンシャルの高い選手

選手：①石島雄介 ②越川優

#### II.強化指定選手 B2

上位ランキングの中から2名推薦

選手：①村上斉 ②畑辺純希

### 【強化指定選手 C】（若年層の有望選手や190cm以上の選手）

#### I.強化指定選手 C1

ビーチ競技実績は少ないものの、年齢が若く2024年のオリンピックに対して有望と思われる選手を対象とする

[原則：若年層の有望選手は大学卒業後2年間の年までとする（24歳）]

選手：①進藤涼

#### II.強化指定選手 C2

強化指定選手 Bであった2名については強化指定選手 Cとして再度強化を図る

[原則：Vリーグ、大学転向組の高身長選手は転向組2年間とする]

選手：①倉坂正人 ②池田隼平（強化指定選手 B から降格）

以上